

保守点検項目表 ④

点 検 項 目	点 検 及 び 保 守 内 容
1. 基礎・固定部	①電裂、沈下等 ②固定金具の劣化及び固定ボルトの緩み
2. 外観の状況 a 本体 b 保冷材	・腐食、変形、破損等 ・損傷及び脱落
3. 付属品 a 温度計 及び圧力計	①正常値を指示していることを確認 ②取付け部等の濡れ ③汚れ及び損傷
4. 気密確認	・機内圧力が規定値以内であることを確認
5. 電気系統 a 操作回路 及び動力回路 b 端子 c タイマー d サーマルリレー e 電極棒 f 操作盤内 g 接地	・絶縁抵抗の測定・良否確認 ・緩み、変色及び破損 ・起動制限、遅延、その他のタイマーが設定値で作動することを確認 ・キヤントポンプ及び抽気ポンプ用サーマルリレーの設定値を確認 ・電極棒の機能 ・盤内の汚れ、異物の付着、緩み及び変形 ①断線及び緩み ②接地抵抗の測定・良否確認
6. 保安装置 a 作動試験 b インターロック 7. 蒸気圧力調整弁	・リレー及び保護装置が規定値で作動することを確認 ・作動の良否確認 ①リソク装置の緩み ②実作動及び疑似回路により作動、良否の確認 ①濡れ ②弁の開閉の良否確認 ③冷水及び冷却水系統の各水室部に水漏れがないことを確認
8. 冷水及び冷却水系統	・異常の確認 ①運転時における主電源電圧の変動が、規定値内にあることを確認 ②運転電流が規定値内にあることを確認 ③電動機の回転方向が正しいことを確認 ・蒸気圧力調整弁が設定温度で段階的に作動することを確認 ・蒸気の1次圧力が規定の許容範囲内にあることを確認 ①不凝縮ガスの混入及び冷却管の汚れ ②冷水及び冷却水の入口温度及び出口温度、溶液温度、溶液濃度、凝縮温度、蒸発温度等の測定、その値が許容範囲内にあることを確認
9. 運転調整 a 音及び振動 b 電流・電圧 c 制御 d 熱源 e 熱交換器	

点 検 項 目	点 検 及 び 保 守 内 容
10. 真空気密 a 抽気ポンプ b 抽気系統 c リーク試験 d パラジウムセル ユニット e 真空引き 11. 冷媒及び吸収剤 12. 熱交換器	①起動時に固着及び異音がなく、抽気能力に異状のないことを確認 ②ベルトの張りの良否及び油面の適否 ・抽気用弁を手動で全開にし、真空計の変化から開通していること確認 ・抽気ポンプで機内に不凝縮ガスのないことを確認 ・パラジウムセル部の焼損及び劣化度 ・抽気ポンプを用いて機内を所定の圧力まで抽気 ①攪拌した溶液を適量採取し、腐食防止剤濃度及びアルカリ度が規定の許容範囲内にあることを確認 ②溶液に汚れないことを確認 ③冷媒薬品の減少がみられるようであれば充填するものとする。 ・水室の汚れ及び腐食

※汚れている部位は確実に清掃すること。

件名	都城駐屯地空調機保守点検	図面No.	10/11
図名	保守点検項目表④	縮尺	—
	陸上自衛隊 都城駐屯地業務隊		令和6年4月 日